

### 運用先市場の状況

#### 国内株式市場および国内債券市場 2023年7月～9月

作成基準日 2023年9月29日

##### ○国内市場

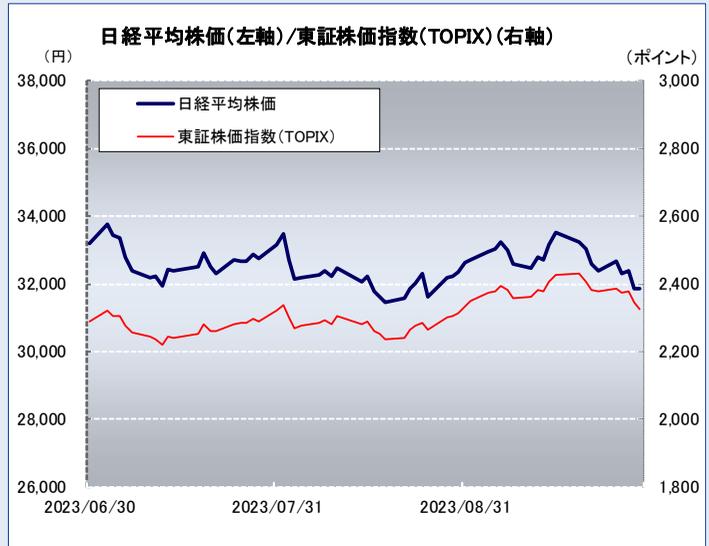
###### ・株式市場

7～9月を通してTopix(東証株価指数)で見ると、国内株式市場は上昇しました。

7月、国内の株式市場は上昇しました。米国でのインフレ収束や日銀の緩和的な金融政策継続などへの期待に加え、良好な決算発表を受け、上昇しました。ただし、日銀は月末に、イールドカーブ・コントロール(長短金利操作)の運用を柔軟化を決定しました。

8月も、株式市場は上昇しました。下旬に行われた講演でのFRB(米連邦準備制度理事会)議長の発言が警戒されていたほどタカ派(インフレ抑制を重視する立場)的ではなかったことや、米半導体大手の好決算が好感されました。

9月末は、8月末と比べ、概ね横ばいとなりました。中国景気に対する過度な警戒が和らいだものの、米国で利上げ打ち止め期待が後退して長期金利が上昇したため、上値の重い展開となりました。



(出所) Bloomberg データを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

###### ・債券市場

7月、長期金利は上昇しました。日銀の政策修正観測が強まり、金利の上昇要因になりました。実際に日銀はイールドカーブ・コントロールの運用柔軟化を決定しました。

8月も、長期金利は上昇しました。米国金利の上昇や、20年国債入札の不調、日銀のマイナス金利政策解除への思惑などが金利押し上げ要因になりました。

9月も、長期金利は上昇しました。植田日銀総裁がインタビューで年内のマイナス金利解除の可能性に言及したとの報道を受け、特に中旬以降に長期金利は上昇しました。下旬も米国金利が一段と上昇基調を強め、長期金利はさらに上昇しました。



(出所) Bloomberg データを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

運営管理機関：三井住友海上火災保険株式会社 加入者専用コールセンター 0120-401-841

平日(月～金) 9:00～20:00 土日9:00～17:00 (祝日・振替休日・年末年始等は休業させていただきます。)

- 当資料は、確定拠出年金の運用指図を行うために参考となる情報の提供等を目的としたものであり、運用方法に係る勧誘等を目的とするものではありません。最終的な運用指図については、お客さまご自身の判断で行ってください。
- 当資料は、作成日において信頼できると判断した諸データに基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではなく、また、今後の成果を保証・約束するものではありません。
- 当資料の内容について、無断で使用、転用、複製することを禁じます。

### 運用先市場の状況

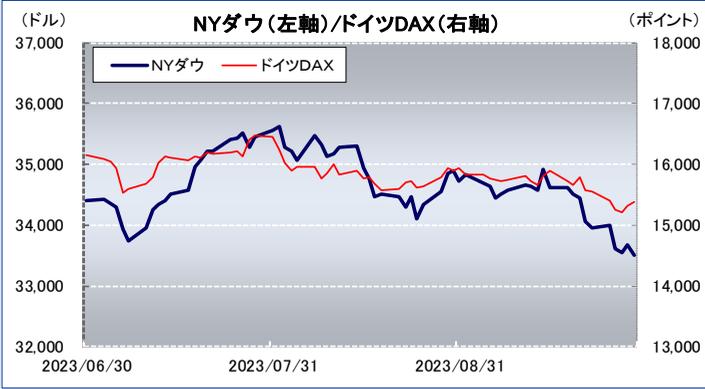
#### 外国株式市場、外国債券市場および為替市場 2023年7月～9月

作成基準日 2023年9月29日

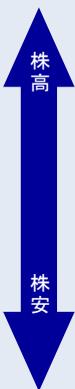
##### ○外国市場

###### ・株式市場

7～9月を通して見ると、欧米ともに株式市場は下落しました。  
 7月、米国株式市場は上昇しました。月末に0.25%の利上げが2会合ぶりに実施されたものの市場予想通りで、良好な決算発表が相場を下支えしました。  
 8月、米国株式市場は下落しました。米国債の格下げや中国の不動産問題、長期金利上昇などがマイナス要因となりました。  
 9月も、米国株式市場は下落しました。利上げ局面長期化への警戒から長期金利が上昇、米中対立もあり、下落しました。  
 欧州株式市場も期を通じて見ると下落しました。域内の景況感の軟化、中国景気の鈍化、長期金利の上昇などが下押し要因になりました。

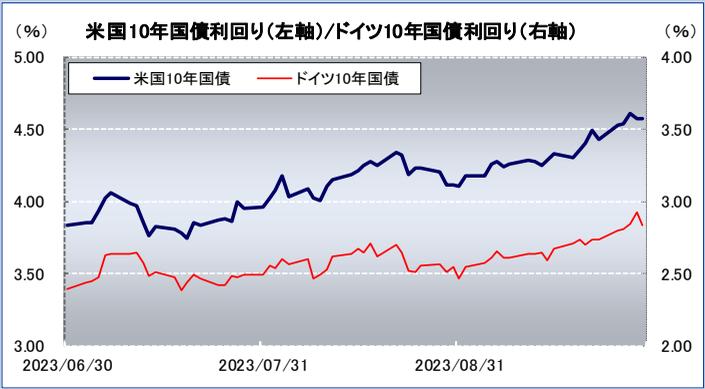


(出所) Bloombergデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



###### ・債券市場

7～9月を通して見ると、欧米の長期金利(10年国債利回り)は上昇しました。  
 7月、米国の長期金利は、堅調な景気を示す経済指標などを受けて、上昇しました。  
 8月も、米国の長期金利は、金融引き締めが長期化するとの見方などから上昇しました。  
 9月も、米国の長期金利は上昇しました。政策金利は据え置かれましたが、金融引き締め長期化や原油価格上昇などへの懸念が金利上昇要因となりました。  
 ユーロ圏では、長期金利(ドイツ10年国債利回り)は上昇しました。政策金利が長期にわたり高い水準にとどめられるとの観測などから、金利は上昇しました。

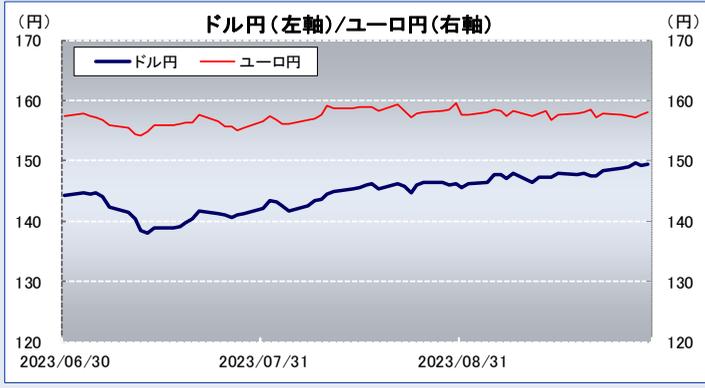


(出所) Bloombergデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

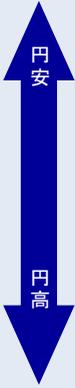


##### ○為替市場

7～9月を通して見ると、米ドル、ユーロともに対円で上昇しました。  
 7月、米ドル/円は、米国で利上げの終盤が意識された一方、日銀の政策修正観測が強まり、米ドル安・円高となりました。実際に日銀が長短金利操作の運用を柔軟化しました。  
 8月、米ドル/円は、米国での景気の堅調さや金融引き締め長期化観測を受け、米ドル高・円安となりました。  
 9月も、米ドル/円は、米金利高を受けた日米金利差拡大などから、米ドル高・円安基調が続きました。  
 ユーロ/円も、期を通じて見ると、日欧の金融政策の方向性の違いなどから、小幅のユーロ高・円安となりました。



(出所) Bloombergデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



運営管理機関：三井住友海上火災保険株式会社 加入者専用コールセンター 0120-401-841

平日(月～金) 9:00～20:00 土日9:00～17:00 (祝日・振替休日・年末年始等は休業させていただきます。)

- 当資料は、確定拠出年金の運用指図を行うために参考となる情報の提供等を目的としたものであり、運用方法に係る勧誘等を目的とするものではありません。最終的な運用指図については、お客さまご自身の判断で行ってください。
- 当資料は、作成日において信頼できると判断した諸データに基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではなく、また、今後の成果を保証・約束するものではありません。
- 当資料の内容について、無断で使用、転用、複製することを禁じます。